

# 詩人魂

●島の詩人 日向裕一が入院中に描いた詩集



2010 YUICHI HYUGA

**あなたの笑顔は、  
僕の勇気になったよ!!!**



# 目次

入院生活…………… 3

入院中に描いた詩集…………… 5

随想四季エッセイ…………… 22

プロフィール…………… 24



# 入院生活

入院日・二〇一〇年八月六日

人の体内酸素は、通常95%以上で80%になると呼吸が苦しくなります。私の体内酸素は、63%になり、苦しくて意識が無くなりました。

集中治療室に入ってから十日間も全身麻酔でした。39℃の熱、チューブ、気管挿管、点滴は一度に多いとき八本、心電図などの機械に囲まれてベッドの上で深い眠りでした。十一日目も記憶になく、十二日目とうつすらと目覚めました。

食べ物、スプーン一杯のお茶が数日続き、

後に水のような食事になりました。日に日によくなって流動食になり、現在は普通食になりました。

十日間の深い眠りは、体力も筋力も低下させていました。私は、箸や茶碗も持てない状態でした。ベッドから起き上がることもできず、リハビリを含めて一カ月以上も入院しました。

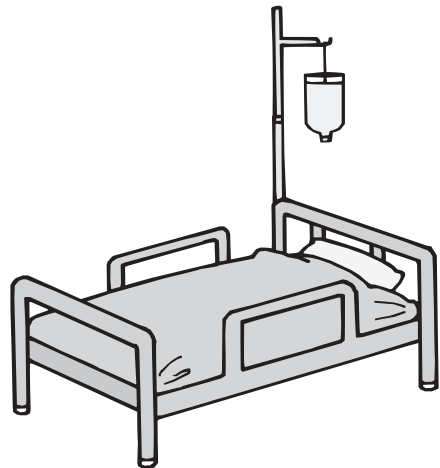
私は、医師の方々、看護師の方々、リハビリの理学療法士の方々、クリエーターの方々、いつも部屋をピカピカに掃除して頂いた方々にも感謝しています。もちろん、親にも感謝しています。皆様方の優しく強い気持ちに

よって、私が前向きに頑張ることができました。

とてつもない不安や苦しみを乗り越えて、大崎上島に帰って来ることができたことに喜びが満ち溢れています。入院中、島への想いを忘れることなく、必ず復活して活動をする信念を曲げませんでした。

私は、病気を通じて健康が大切だと強く感じました。これからは、体調にも気をつけて活動を頑張ります。応援を宜しく願います。

日向裕一



# 入院中に描いた詩集

## 明日の歌

### 天井

病室の天井と会話

外は 夏の素足の季節

明日のことがわからない

それでも 生きたい

一日一日の命を輝かせて

忘れない この時間の流れ

今日も天井と会話

季節が秋に少し近づいた

川辺で遊んだ友は

今でも思い出の中で少年

いくつもの道を選んで

巡り合うこと約束して

大人になってゆく

明日の歌が聞こえた

友に会ってみたい

## 生きている

## 涙

僕等は なぜ生きている

夜一人のときに思った

愛する人を探すためなのか

僕は 夜空を見た

答えがないことに

人は 挑むのだろうか

枯れることを知らない涙は

美しく流れます

人の優しさに「ありがとう」と

私は 感謝が溢れています

明日があること強く祈り

今を生きている心の道

人と人の中には

温かい涙があります



## 男の道

男の青春に終わりはない

いつまでも 夢に生きている

それが 男の道

明日 恋したら夢が消えるのか

男のロマン こだわりを生きている

それが 男の道

どんなに遠く離れても

故郷を忘れたことはない

鳥のように自由に

男は旅する

## 空

自由に飛ぶ鳥が

光の方向へ

生きてください

たとえ雨だとしても

必ず愛は側にあるよ

生きてください

あなたの存在が

僕の勇気になるよ

## 僕等のナミダ

たとえ三振でも

思いつきり生きよう

いつか いつか

特大のホームラン人生

今が大切だ さあ生きよう

僕等のナミダ 情熱のナミダ

## 我が道の青春

何歳になっても

我が道の青春を歩く

明日のこと悩んでも意味ない

成るように成ることが

我が人生と信条

マジメに生きていれば

いつか 恋でもできるだろう

## 男の海

島の夕日を見つめて

しずくがナミダのよう

誰も知らない

朝になれば 船に乗って

どんどん沖へ出て行く

男の海 命ふるわせ

勇者のように闘う

## ロマン

大冒険に旅をしようよ

遙か遠くの国を巡り

いろんな証を残して

たくさんの唄を歌い

ロマンに生きることが

本当の僕なんだと気づいた

新しい自分自身を探しに

さあ一歩を踏み出して

地球の上に生きて行こうよ

## 幸せは

世界にどこに正義がある

虹のような国と国はどこ

幸せは 一人だけのモノじゃない

幸せは みんなのためにある

幸せは 心の色で見る空だと思う

## あなたの優しさ

病は 人を強くすると信じたい

どんな過去にも 負けず生きる

新しい日 いくつも感じた

あなたの優しさが 心にしみる

どれだけ感謝の言葉を言えば

伝わるかを考えるよりも

心からあふれる笑顔で見つめて

いくつもの山を越えた

## 人生の旅

楽しいことや悩むときも  
ときどき見る空があれば  
少しの勇気と希望で旅に出る

むかしの人々の言葉を心に刻み  
一歩一歩を大事に進む  
まだまだ修行が足りない

老いることは 何かを感じ  
人生を噛みしめて 気づくこと

## 野花

自由を感じたかった少年  
ガラスの心 抱えて  
ため息に見る夢の道

野花は 悲しいことあるのかな  
僕等の心 どこへ行けばいい  
大人になったら自由かな  
自由って何だろうか  
僕の進む方向  
心が知っているよ

世の中の矛盾した言葉集め  
ごみ箱に捨てて歩こうよ

## さみしさの夜

時計の音が響く部屋で

一人暗闇の中を迷っていた

傷つきたくないから

弱さが病のような心だった

さみしい夜 あなたのぬくもり

見失わず 抱きしめたい

## 今日を生きる

都会の空は 孤独の太陽

冷たい風に吹かれている

今日を生きる 生きる

信じて 願って 明日へ

心の痛み 忘れることなく

雨が降っても 傘もない

今日を生きる 生きる

迷って 歩いて 立ち止まる

## 帰り道

影の広がり さみしく

河川敷を歩く 草花ユラリ

無言だけど 月が見ている  
ヒカリに心が表れる

川の音 風の音 砂の音

あともう少しで家に近づく

電灯ポツポツ 夜空の星

帰り道 過去とつながる

## 明日

たった一日

二十四時間だけど

いろいろな人に

お世話になったね

忘れてはいけない

今日を感謝すること

明日の体温が消えず

想いを あなたに届け

## 歩こうよ

喜んで泣いた夜

悲しんで泣いた夜

夜が明ければ

今日一日が始まる

進め 進め 進め

半歩でも 一歩でも

歩こうよ 歩こうよ

## ありがとう

今 あなたに手紙を  
したためているよ

素直に

ありがとうって伝えたくて  
気持ちが高く

夜空も新しいヒカリ

ありがとう ありがとう

ありがとう ありがとう

百回じゃ足りなくて

千回 何万回

夜空の星も踊っているよ  
もう一度 ありがとう



## 現実

あきらめたら 勝者が泣く  
自分自身との闘いは  
たくさん過去にもあった

病院のロビーの花を見て  
美しいと思えたことが  
僕の生きている命と重ねた

一歩一歩 踏みしめて  
これからの人生を生きたい

## 笑顔

どんなに苦勞しても  
最後の最後は 笑顔でいたい  
そして キミの笑顔を見たい

消えゆく命 生まれ来る命  
笑顔という満開の花が  
ゆっくり 時の流れを感じる

笑顔のまま 生きていたい  
だから 苦勞という肥料がある

## 出会えた時間

人生につまづいて

とても痛くて歩けなかった

挫けないで 心強く

常に闘いの世界に生まれた

打ち勝て 自分自身に

あなたに届け 届けたい

## 未来への歌

窓を開ける 新しい風

陽の高さに気持ち晴れた

情熱は胸の中 強く生きよう

果てしない夢へ歩こう

未来への歌 どんなときも

聞こえてくる

## 西の空

## 巡り合う日

坂道歩き 汗を流して

人は 少しずつ成長する

山に囲まれた街 緑あふれる

想い乗せて 西の空

振り返るな また今度

会いましょうと約束した

優しい あなたへ

嬉しいときも

共に歩いた

焦る気持ち おさえて

闘いは 終わらない

巡り合う日

笑顔で 会いたい

## 花を咲かせたい

たった一つの命

人生の地図がなくても

迷ったときも

夢が助けてくれた

みんなで花を咲かせたい

鳥のオーケストラ

キレイな歌声が響き

泣いた過去に さようなら

プラスとマイナスの間

人生の花は 美しく香る

## 新しい日

会いたいと想うとき

あなたが心に存在している

振り返らず 前を向いて

出会うときは 成長を見てほしい

新しい日 遠くても 遠くても

必ず 会いに行けるように

## 夢の中

## 生きてください

僕は 宇宙を彷徨っていた  
疲れ果てた身体や心

あなたの苦しみを少しでも  
楽な気持ちにしたいと

夢の中 あなたの声を聞きたくて

私はずっと思っていました

いついつ目覚めること知らず

苦しいこと ツライこと

生きてください 生きてください  
生きてください 生きてください  
生きてください 生きてください

悩むこと さみしいこと

道の途中に 立ち止まった

あなたの声を聞きたくて……

## 終わらない青春

そろそろ外へ出ようか

広くて狭い矛盾した世界へ

そろそろ現実に戻ろうか

愛する島の香りが風に乗って

終わらない青春

島の夕日 なつかしい

そろそろ歩いて行こうか

自分自身のために未来の声

終わらない青春

あなたの優しさを忘れない

## そして、道が続く

十日間の眠りから覚めたとき

意識も遠くかすかな記憶

一カ月以上の入院生活

起き上がれず 箸も持てず

すべてが思い出になるとき

昨日のようなことだと感じる

明日の退院日に島へ帰れる

さみしさと不安と希望

生まれ変わった命と共に

## ○大崎上島の文化活動のご案内

島の詩人 日向裕一と共に活動して頂ける仲間を大募集しています。

一緒に、大崎上島の文学「ヒナタ文学」制作など新たな企画もお待ちしています。

愛と平和をテーマに活動しています。年齢不問。共に学び、共に教え合う。私の理念です。

## ○サポーターズ店を大募集

作品の設置をご協力して頂けるお店に限ります。

### 特典

日向裕一公式ホームページ内の

サポーターズ店に記載してご紹介させていただきます。

ホームページが無いお店は、ご希望の場合1ページ無料で制作させて頂き、公式ホームページでご紹介を致します。

ホームページの有るお店は、ご希望の場合リンクさせていただきます。

## 日向裕一公式ホームページ

ヤフー検索でのキーワード 日向裕一

## 助け合い精神

私は、入院生活を通じて人と人との支え合いが社会であると再認識した。その間には、真心が存在する。これからの時代は、一人の利ではなく、「助け合い精神」が必要となつてゆく。

世界的な不況の中で、みんなで助け合つて困難を乗り越える。生きている限り、誰もが悩みがあり、誰もが病気になる可能性がある。だからこそ、人の痛みを感じる事ができる優しさが必要だ。

私は、「二日一善」の実践を心がけて生き

ている。個性は、それぞれが違つても、みんながみんなを応援するような社会が必要だと思う。素直な気持ち、感謝の気持ち、謙虚な気持ちになれば、少しずつ社会が良くなる。「助け合い精神」によつて、社会秩序の地盤ができる。

客観的、主観的に物事を見て感じ、大崎上島の発展に関して考えている。内だけを見るのではなく、外から見た大崎上島も必要だと思う。

私は、入院生活で様々な方々と交流できた。そして、医療という命の現場で働く方々のエネルギーを感じた。人生初の入院だったが、私は、この体験を忘れることなく、人生の肥やしだと思ひ生きてゆく。たとえば、病気であつ





## 日向裕一とは

主に沖縄、東京など全国各地で暮らしていた。  
現在、瀬戸内の真ん中に位置する大崎上島で創作活動をしている。  
著作「綺麗なサクラを咲かそうよ」(文芸社)  
大崎上島の文学「ヒナタ文学」は、全国配布の活動をしている。  
ヒナタ文学シリーズ6を企画中。

## 日向裕一の主な経歴

広島県豊田郡大崎上島町

1980年生まれ

日本詩人連盟 正会員

NPO武士道協会 特別協賛委員

PHP人財育成webサポート 正会員

ユネスコ認定 五井平和財団 賛助会員

ネクストリーダー養成校・NPO一新塾22期卒塾

地方再生リーダー育成塾 修了

日向ピースオブカフェ代表

大崎上島の文学「ヒナタ文学創始者」

詩人 作詩家 教育者

## 文、写真、企画、構成、編集など

日向裕一

## 人の痛み

人を傷つけたりすると心が痛むのは、  
すべての人に良心が存在するからだ。  
良心に逆らうことをすればするほど、  
結果的に自分自身を苦しめる。

「善は、善に成る」という言葉の通り、  
良いことをすれば、良いことが反射する。  
まるで、鏡のようだ。

社会に一人で生きていないことを  
強く心に問う。  
それが、生きる力。

# 座談会の企画を大募集中です。

日向裕一との座談会を致しませんか？

不登校問題、いじめ問題、教育問題、  
心の病に関することなど。

# 文学によっての町づくり。

仲間大募集しています。

一緒に、文化の花を咲かせましょう！！

**美しい愛と平和の町へ**

日向ピースオフカフェ代表 日向裕一より

TEL. 090-2001-6119